

## はじめに

東京都は、平成25年3月、「東京都健康推進プラン21（第二次）」を策定し、どこに住んでいても生涯にわたって健やかで心豊かに暮らせる社会をめざし、総合目標として「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を掲げています。これらを達成するために、生活習慣病の発症予防や生活習慣の改善の取組をさらに強化することとしています。

また、近年、住民同士の助け合いなど、地域のつながりの重要性が改めて認識され、「地域に根差した信頼や社会規範、ネットワークといった社会関係資本」を意味する「地域のソーシャルキャピタル（地域のつながり）」が注目されています。地域のつながりが豊かなほど、住民の健康状態が良いことが報告されている一方で、東京などの大都市では地域のつながりが豊かではないとの報告もありますが、その実態は明らかではありませんでした。

そこで、都民の健康や地域とのつながり（ソーシャルキャピタル）に関する意識や活動状況等を把握して、今後の健康づくり施策に活かしていくため、調査を実施しました。

この報告書は、その調査結果を取りまとめたものです。今後の健康づくりを推進するために、関係機関及び関係者の方々に広く御活用いただければ幸いです。

最後に、本調査に御協力いただきました都民の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成26年12月

東京都福祉保健局保健政策部長

笹井 敬子

